

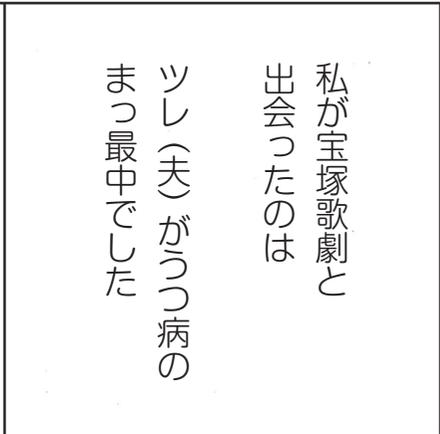
てんてん こころの広場に行く

その13

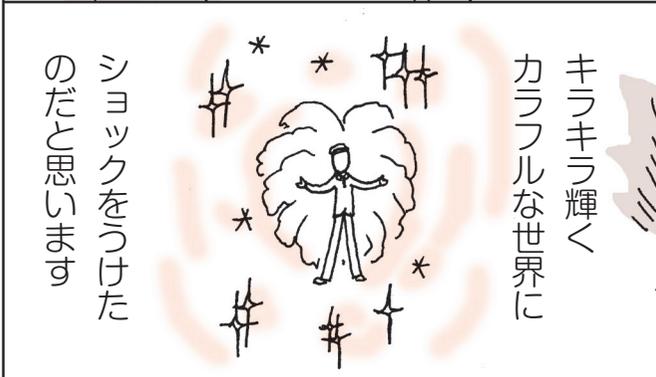
ほそかわ てん てん
細川 貂 々



今思うと
無意識に
灰色の
世界に
いた私は



私が宝塚歌劇と
出会ったのは
ツレ(夫)がうつ病の
真っ最中でした

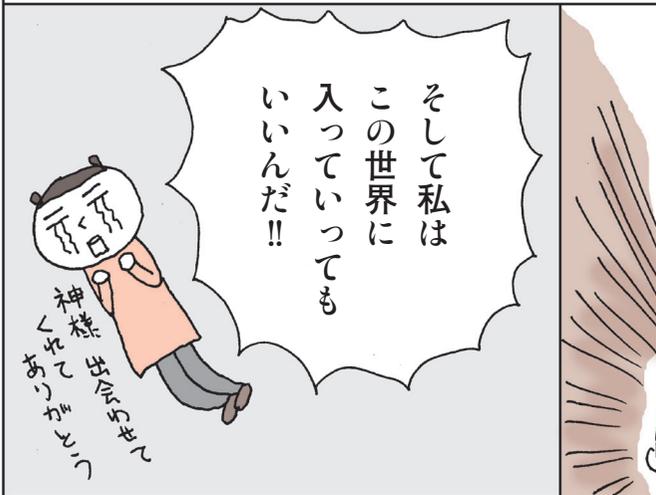


シヨックをつけた
のだと思います

キラキラ輝く
カラフルな世界に



突然
見せつけられた



そして私は
この世界に
入っていても
いいんだ!!

神様 出なせせん
くねて
あーっかん



世の中には
こんな
世界が
あったんだ!!

細川貂々(ほそかわ・てんてん) 1969年生まれ。セツ・モードセミナー卒業後、漫画家、イラストレーターとして活動。『ツレがうつになりまして。』が大ベストセラーに。『それでも母が大好きです』、『わたしの主人公はわたし』、『日帰り旅行は電車に乗って 関西編』、『生きづらいでしたか?』など著書多数。

あれから16年
たちました

ツレのうつ病は
かんかいして
ツレは元気に
なりましたが



私のタカラヅカ熱は
健在です!!



好きすぎて
宝塚市に
引越しちゃいました

宝塚歌劇は
私にとって

心の栄養分

を補じゆうして
くれる所です



大劇場のイスに座って
三時間観劇する
だけで



パワー
チャージ
パワーアップ
お肌ツヤツヤ
自己肯定感も
あがります

これは私の
考えですが

舞台上に立ってる
タカラヅカエン又さんの
パワーが強くて
それを客席で
浴びるから
パワーチャージできるのだと
思います



今の私の目標は
94歳まで生きて
宝塚歌劇150周年
の式典を見る
ことです!



長生き
したい